



2026年8月3日

各 位

キーウェアソリューションズ株式会社

代表取締役社長 三田 昌弘

(コード番号：3799 東証スタンダード)

問い合わせ先 経営企画部 広報IR室長 北川 久美子

(電話 03-3290-1111)

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約締結のお知らせ

当社は、株式会社三井住友銀行（頭取CEO：福留 朗裕、以下、三井住友銀行）と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」による融資契約（以下、本融資契約）を締結いたしました。

当社グループは、5ヵ年中期経営計画「Vision2026」に基づき、経営インフラ戦略として「SDGs戦略」「人材戦略」等を掲げ、積極的に取り組みを行っています。こうした当社の取り組みをご評価いただき、本融資契約の締結に至りました。

当社は今後も引き続き、持続的な成長とサステナブルな社会の実現に向けて取り組みを推進してまいります。

1. 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の概要

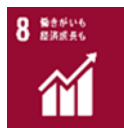
ポジティブ・インパクト金融原則（※1）に則り、企業の事業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、サステナビリティ経営の実現に向けた活動を継続的に支援することを目的とした融資です。

三井住友銀行が当社の事業活動に関連する重要なインパクト領域を評価し決定した重要取組項目および評価指標は後段の通りです。取り組みの推進と定期的な進捗状況の開示を行い、三井住友銀行よりモニタリングと継続的なサポートを受けます。

※1 ポジティブ・インパクト金融原則

SDGsの達成に向け、金融機関が積極的な投融資を行うための原則として、2017年1月に国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）により策定されたものです。資金提供先企業のネガティブな影響を軽減し、現実的かつ信頼性のある方法でポジティブな影響を高めるための資金提供のあり方を定めており、「定義」、「枠組み」、「透明性」、「評価」の4つの原則で構成されています。

<重点取組項目及び評価指標>

重点取組項目		評価指標	関連するSDGs
環境負荷の低減、持続可能な社会の実現への貢献	企業活動における資源とエネルギー消費を削減するシステム構築	<目標> ・CO₂排出量の削減 2026年度目標：35%削減（2013年度比） 2030年度目標：46%削減（2013年度比） ・電気使用量の削減 2026年度目標：35%削減（2013年度比） ・紙使用量の削減 2026年度目標：70%削減（2013年度比） <評価指標> ・CO₂排出量 ・電気使用量 ・紙使用量	  
国内産業のDX推進	最適なデジタル医療サービスの提供による医療課題の解決	<目標> ・電子カルテ、部門システムの情報管理への貢献 (電子カルテ及び部門システムの情報管理における対象患者数) ①2026年度までに外来100人/日 ②2026年度までに病院として9万人 ・地域包括ケア事業への参画 2026年度までに2件 ・小規模病院への電子カルテ導入、全国での導入率UPへの貢献 2026年度までに3件導入（2020年10月1日、対象エリア未導入292病院） <評価指標> ・電子カルテ、部門システムの情報管理における対象患者数 ・地域包括ケア事業への参画状況 ・小規模病院への電子カルテ導入件数	   
	クリーンなサービス環境の提供・提案による業務効率	<目標> ・Biz J 導入支援を通じた組織全体の業務プロセス可視化、業務効率改善と生産性向上	

	の向上と環境保全への貢献	に繋がる基幹システムの最適化およびペーパーレスによる環境保全への貢献 ①2026 年度までに IaaS/PaaS 導入支援件数累計 15 件 ②2026 年度までに SaaS 導入支援件数累計 2 件 <評価指標> ・Biz f 導入支援件数	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任 17 パートナリシップで目標を達成しよう
	最先端技術の探求と普及に資する人材の育成	<目標> ・情報処理技術向上に向けた資格取得支援の強化、DX 人材の育成 <評価指標> ・「情報処理技術者試験」「プロジェクトマネジメントプロフェッショナル（PMP®）」資格取得状況	4 質の高い教育をみんなに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
健康経営、ダイバーシティ経営の推進	働きやすい職場環境の整備	<目標> ・2030 年度までに上位の職位へのステップアップに挑戦できる環境を提供 ① 性別による昇格率の差異が 5%以内 ・2030 年度までに長く活躍できる環境を整備 ① 男性育児休業取得率 50%以上 ② 年間月平均時間外労働時間 21 時間以内 <評価指標> ・男女別の昇格率 ・男女別の育児休業取得率 ・時間外労働状況	5 ジェンダー平等を實現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう